

## 「変身大賞」受賞者のプロフィール

### 企業部門 変身大賞

組織名	有限会社鼎家			
設立	平成 16 年 11 月	住所	男鹿市船越字内子 1-231	
代表者	米田賢吾(43 歳)	社員数	15 名	TEL 0185-35-3165
事業内容	手焼きせんべい、かりんとう製造販売、土産物卸売業			
変身経緯 と 受賞理由	<div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="flex-grow: 1;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社長の米田賢吾氏は土産物卸売業を営む現会長の長男であったが、家業を継ぐことは考えずに、大卒後県内の土産物小売業者や飲食の企画運営業者に勤務し、平成 25 年 9 月に当社に入社した。</li> <li>・ 退職理由は人事制度等を勘案すると、先行き経営層に食い込むことが難しいと考えて、当社で経営者として腕を振りたいと考えたからである。 (サラリーマンから事業継承者に変身)</li> </ul> <p>・ 入社して感じたことは、秋田県内メーカーの土産物を小売店に卸す商売は飽和状態なので、業容を拡大するには魅力的な商品を自社開発しなければ生き残れないと考えて、山形の「そばかりんとう」にヒントを得て、秋田市に 15 坪の小さな工房を新設し、4 ヶ月の開発期間を掛けて 26 年 2 月に稲庭うどんで作った「稲庭かりんとう」を商品化し、土産物店に卸したところ、売上も順調で秋田県内の取引先数が増えた。 (卸売業から製造業に変身)</p> <p>・ その後、米処なのに秋田県産の米菓が少ないことに気付き、全国に通用する商品として、県総合食品研究センターの協力を得て、手揚げ煎餅「淡雪ふわり」等を商品化した。</p> <p>・ さらに新規商品が順調に売り上げを伸ばしていたので、県内の味噌醤油メーカーの味噌醤油でタレを作り使用した「鼎庵」ブランドの煎餅を生産するために、工場兼小売店舗を元年 6 月に潟上市に新設して業容の拡大に務めている。</p> <p>・ サラリーマンから事業承継者に変身したものの、競争が激しい卸業界で生き抜くことは難しいと考えて、最初は小麦粉を材料とするかりんとうの製造業者へ転進を図ったが、県産米が有効に活用されていないことに気付き、県内味噌醤油業者とコラボして高級手焼き煎餅を商品化し、全国の有名デパート等に販売するまでに事業を拡大して雇用増を実現すると共に、県産の米や味噌醤油を活用する秋田ブランドの米菓を自社開発したことは、秋田県の活性化に貢献していると認められる。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> </div> </div>			